

年度	平成16～18年度
----	-----------

基本目的 9 行政機能が高くなる

行動目標 9-1 社会ニーズに対応した行政運営を行う

(所管課名 楠総合支所地域課)

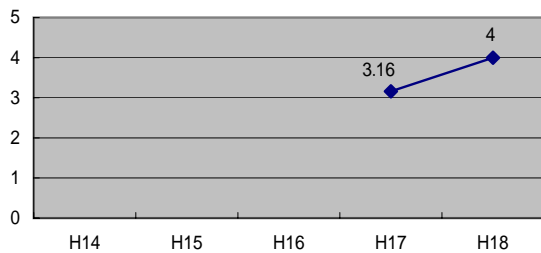
任務 地域の生活基盤に関する各種相談受付及び経由と適正な施設の維持管理を行い環境の保全を図る。

任務の成果・活動指標の推移

地域住民アンケート5段階評価

H14実績	—
H15実績	—
H16実績	—
H17実績	3.16
H18目標	4

地域住民アンケート5段階評価



任務に対する評価

これまでの取組と成果、手段の妥当性

平成16～17年度

平成17年度は、合併による住民の不安を解消し利便を図るため、地域の生活基盤に関する各種相談及び適正な施設の維持管理を行うとともに、管理する施設の台帳化を図った。

各種相談については、総合支所及び関係部局で迅速、適切に処理し、また施設についても、適切な維持管理により、正常な運転が確保でき、楠地区の環境の保全が図れた。

平成18年度

平成18年度は、施設管理をより適確に行うため、安全柵の設置や揚水ポンプの定期点検を新たに導入するなどして、農業用水・環境用水の安定確保に努めるとともに、その他の施設についても、引き続き適正な維持管理を行う。

施設の適正な維持管理を図り、楠地区の環境の保全を図る。

これからの課題、施策等展開の方向性

鈴鹿川等からの農業用水・環境用水の安定確保のためには、各揚水施設の適正な維持管理が必要であり、計画的な点検や改修を進めていく必要がある。

指標の説明

地域の生活基盤に関する各種相談及び施設の維持管理が適正に行われたことは、市民の満足度により判定されるものと考え、地域住民アンケートを指標とした。